

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス はぐハウス				公表日	2026年 5月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		基準以上のスペースを確保しており、適宜環境調整を行い密にならないようにしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準以上の専門職員を配置している		
	3	職員の配置数は適切であると思いますか。	7		ワンフロアで段差がなく、玄関の段差にはスロープを使用している。また、児童の成長発達に応じて設備や表示を変更している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清掃、消毒、整理整頓を毎日実施し、利用中にも必要に応じて清掃、消毒を行い清潔を心がけている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要時、別室を使用したり、カーテンやパーテーション等で空間を仕切ること、環境調整を行っている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		支援や業務の振り返りを行い、必要に応じて改善を図れるよう職員会議を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表のご意見をもとに職員間で話し合いの場を持ち、改善を図っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		従業者向け評価表や職員会議等により意見を把握し、改善を図っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	風通しのよい職場を目指し、法人内での見学や、業務・支援の確認等を行っている。	第三者による外部評価を検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		施設内研修や外部研修により、職員の知識・技術の向上を図っている。	参加できなかった職員にも資料の配布と伝達研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		事業所ホームページで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		モニタリング、日々の支援や取り組みからこどものニーズを把握し、職員全体で十分に検討して支援計画を作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援会議を開催し、各専門職で意見交換を行いながら支援計画を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画の内容に沿った支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		適応行評価尺度を用いたフォーマルアセスメントと、日常の支援によるインフォーマルアセスメントを組み合わせ理解を深めている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を記載するように努めている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		保育士、理学療法士、看護師を中心に、多職種の見聞交換のもと立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節毎の行事を取り入れている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立案している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼で申し送りや打ち合わせを行い、多職種で連携をとりながら支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	支援終了後に振り返りや情報の共有を行っている	勤務時間により終了後に共有できない職員については書面等で共有を徹底していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		利用毎の支援記録にて個々の情報を記録し、1か月毎に各職種で情報の集約を行い、支援の質の向上に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングに加え、状況の変化があった場合にもモニタリングを行い、細やかに計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		年齢や発達状況に応じ、かつ季節感も大切に細やかな支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		多職種で話し合い、選択肢の提示方法や内容について検討し、個々のこどもに合わせた支援の工夫をしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者に限らず、こどもの状況に合わせてふさわしいと考える職員が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		各関係機関において、情報提供や共有を行い連携に努めている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校送迎時に教職員との情報共有を行い、必要時には電話にて迅速に連絡調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		担当者会議への参加や連絡調整を行うことで、情報共有と相互理解を図っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		担当者会議への参加や、各事業所への必要な情報を整理したうえで情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	研修や会議等に積極的に参加し、必要時助言をいただくようにしている	連携の状況や助言をいただいた内容などの周知を徹底する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	地域の公園での活動等で交流を図っている	今後は地域活動への参加や、児童館と交流する機会を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用毎の支援記録や、送迎時の申し送り等で情報共有を行い、共通理解できるように努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		外部より講師を招き、こども・家族・職員が参加できる研修の機会をもった	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や質問があった際には、丁寧に説明するよう心掛けている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		こどもの発達の状況や家族の生活状況を考慮したうえで、こどもや家族のニーズを把握できるよう、送迎時の対話やモニタリングでの意向確認を実施している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		計画書の内容について、説明や見直しを行い、同意を得て署名をいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		悩みや困りごとの相談があった場合やモニタリング実施時には、気持ちに寄り添いながら傾聴や助言を行うよう努めている	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		季節の行事や研修会に子どもや家族を招待し、子どもや兄弟、保護者同士が交流できるように努めた	今後は、広報等を工夫し参加者を増やせるように取り組んでいく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった場合は、職員間で話し合い、迅速かつ速やかに報告・連絡を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月のお便り作成や、保護者様への写真・画像送付、Instagramでの発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いに十分留意し、同意書に基づき情報を使用している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に合わせた意思疎通・情報伝達について、チームアプローチも含め配慮に努めている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	地域のお祭りやイベント等に参加し、地域住民との交流に努めている	地域に開かれた事業運営を図れるよう、事業所の行事に地域の方々を招待する等検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。職員・子ども参加のもと、定期的に訓練を行い、お便り等で周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、定期的に地震・火災・水害発生に備えた訓練を行い、非常持ち出しバックの見直しを行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用契約時の保護者様からの聞き取りと、指示書等の内容確認を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		指示書や保護者様からの聞き取りを基に対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づき、職員間で研修や訓練を実施し、安全点検を定期的に行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づく取組内容について、お便りへの記載や必要時の説明を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		全職員が積極的に取り組み、事前検討を踏まえて再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部研修への参加と施設内研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		支援計画への記載と職員間での検討、保護者様への説明と同意のもと実施している		